

第6学年 家庭

第6学年の学習到達目標

- (1) 衣食住や家族の生活などに関する実践的・体験的な活動を通して、家庭生活を支えているものが分かり、家庭生活の大切さに気付くようにする。
- (2) 製作や調理など日常生活に必要な基礎的な技能を身に付け、自分の身の回りの生活に活用できるようにする。
- (3) 自分と家族などとのかかわりを考えて実践する喜びを味わい、家庭生活をよりよくしようとする態度を育てる。

第6学年の主な学習内容

学期	単元名	学習のねらい	学習内容
前期	◆生活時間を見直してみよう	●毎日の自分の生活時間を見て、よくしたい点を見つけ、その原因や解決方法を考える。 ●自分や家族のために、生活時間を有効に使う工夫をする。	○毎日の時間の使い方調べ ○自分の生活時間の改善点 ○問題点の原因と生活時間を有効に使う工夫
	1 見直そう！毎日の食事 ①どんな食べ物を食べているのかな	●毎日の食事の食べ物の組み合わせに関心をもつ。	○1週間の食事の内容調べ ○毎日の食事で、主食として食べることが多いもの
	②ごはんのみそしるをつくろう	●ごはんのたき方のみそしるのつくり方を調べて調理計画を立て、工夫して調理する。	○ごはんのみそしるのつくり方調べ ○ごはんのみそしるの調理計画と調理 ○実習のふり返り、交流
	③おかずの必要性を考えよう	●1食分の食事の栄養的なバランスを調べる。 ●健康な体をつくり、元気に生活するために、いろいろな食品をバランスよく食べることの必要性を理解する。 ●自分の食事の仕方や栄養的なバランスを考え、よりよい食事を工夫する。	○栄養的な特徴による食品のグループ分け ○食べた食事に使われた食品の栄養的なバランス調べ
	2 つくろう！さわやか生活 ①暑い季節を気持ちよく過ごそう	●身の回りで、暑い季節を気持ちよく過ごすためにしている工夫を見つけ、自分でできることを考える。	○暑い季節を気持ちよく過ごすための衣食住（特に衣服）での工夫
	②衣服の着方を考えよう	●衣服のつくりやはたらきが分かり、目的に応じた衣服の着方を工夫する。	○よく着る衣服の観察、つくり、形、表示調べ ○衣服のはたらきや生活に合った着方
	③衣服の手入れをしよう	●衣服の手入れの必要性を理解し、日常着の洗濯ができる。	○衣服の汚れのつき方調べと洗濯の必要性 ○家庭での洗濯の仕方調べ ○衣服の品質表示、取り扱い表示調べ ○衣服に合った洗剤や洗濯の仕方 ○洗濯の手順や用具調べと手洗いの実習
後期	④生活に役立つ物をつくろう	●自分なりに工夫して、生活に役立つ袋やカバーをつくる。	○つくりたい物の材料、手順の計画 ○生活に役立つ物の製作と発表交流会
	3 まかせてね！きょうのごはん ①食べ物の組み合わせを考えよう	●栄養的なバランスを考えて、食べ物を組み合わせる必要があることを理解する。	○1食分の食べ物の選択 ○1食分の食べ物を組み合わせるときに、注意しなければならないこと
	②家族の喜ぶおかずをつくろう	●家族のために、栄養的にバランスのよい1食分の食事を計画する。 ●家族の喜ぶおかずを工夫して調理する。	○バランスのよい食事 ○おかずづくりの計画 ○自分の計画に基づいた実習
	③楽しい食事をくふうしよう	●食事にはふれ合いを深めるはたらきがあることを理解し、楽しい食事にするために工夫する。	○楽しい食事にするための工夫 ○家族で楽しく食事をするための休日の食事の用意の計画
	4 くふうしよう！季節に合うくらし ①季節に合うくらしを考えよう	●季節の変化に合わせて、どのように生活を工夫しているかを考えるとともに、家庭で行っている住み方の工夫を見つけ、実践しようとする態度を身につける。	○寒い季節を気持ちよく過ごすための工夫 ○快適に住むために、家庭で工夫していること

	②快適な住み方をくふうしよう	●あたたかさ(日当たりと暖ぼう), 風通し, 明るさの中から, 自分が課題にしたいことを選び, 調べたり, 試したり, 考えたりして課題の解決を図り, 発表する。	○快適に住むための工夫 ○同じ課題を選んだ友達との課題の追究 ○調べたことをもとにした実践の発表と話し合い
後期	5 伝えよう! ありがとうの気持ち ①できるようになったことをふり返ろう	●今までの学習をふり返り, 自分ができるようになったことや実行していることをまとめ, 自分の生活の仕方や家族への思いの変化などを考える。	○今までの学習のふり返り(楽しかった学習活動, できるようになったこと, 家族のために役立ったこと, 身近な人のために役立ったことなど)
	②家庭へ地域へふれ合いを広げよう	●家庭生活は家族一人一人が自分のできることを考え, 協力し合うとともに, 地域全体の人たちとのつながりを考えて生活することが大切であることを理解する。	○家族や身近な人たちの協力 ○家庭や地域で自分のできることを学習してきたことを生かした見直し
	③わたしの気持ちを伝えよう	●家族や親せき, 地域の人など, 自分の生活を支えてくれたり, 成長を見守ってくれたりした人に, 改めて感謝の気持ちをもつとともに, 自分なりに計画を立て, 家庭科の学習の成果を生かして, 感謝の気持ちを伝える。	○家族やお世話になった人との心のふれ合いや感謝の気持ちの伝え方 ○今までの学習を生かした感謝の気持ちを伝える方法の発表
	これからの生活を考えよう	●2年間の学習を記録や作品をもとにふり返り, 分かったこと, できるようになったこと, 実行していることなどの成果をまとめることができる。 ●もっと努力したいことなどを見つけ出すとともに, 学習で身につけたことを家族や身近な人のために生かし, 役立つようになろうとする意欲をもつ。	○2年間の学習のふり返り ○学習の成果や不足していることなどの話し合い ○家族や身近な人々からの期待などを考え, 自分の学習のめあてをもつこと

評価の観点・方法

<p>(1) 評価の観点</p> <p>【家庭生活への関心・意欲・態度】 衣食住や家族の生活について関心を持ち, 家族の一員として, 家庭生活をよりよくするために進んで取り組み実践しようとする。</p> <p>【生活を創意工夫する能力】 衣食住や家族の生活について見直し, 課題を見付け, その解決を目指して, 家庭生活をよりよくするために考えたり自分なりに工夫したりする。</p> <p>【生活の技能】 生活的な自立の基礎として必要な衣食住や家族の生活に関する基礎的な技能を身に付けている。</p> <p>【家庭生活についての知識・理解】 家庭生活を支えているものや大切さを理解し, 衣食住や家族の生活に関する基礎的な知識を身に付けている。</p>	<p>(2) 評価の方法</p> <p>作品・レポート・家庭での実践記録・ペーパーテスト・学習プリント・自己評価・学習への取り組み状況などにより評価します。</p>
---	--

特色ある学習方法

<p>(1) 製作や調理などの実習の実践的・体験的な学習活動を多く取り入れます。</p> <p>(2) 製作や調理などの実習を効果的に進めるため, 学習環境を整えるなど, 事故の防止に十分留意していきます。</p> <p>(3) 単元によっては, ゲストティーチャーの方に指導していただきます。</p> <p>(4) 調べ学習では, 学校図書館やインターネットで調べたり, 時には地域の人にインタビューしたりします。</p> <p>(5) 実習では, 一人一人にきめ細かな指導をしていきます。</p>
--

使用教材等

○教科書「新しい家庭」(東京書籍) ○家庭科ノート ○裁縫セット

留意事項

<p>(1) 家庭で実践することによって, 製作や調理など, 日常生活に必要な知識と技能を一層身に付け, 自分の生活に活用できるようになります。お子さんが進んで実践できるような環境づくりと温かな励ましの言葉をよろしくお願ひします。</p> <p>(2) 学習に入る前にインタビューしたり, 調べ学習で質問したりすると思います。お子さんに分かりやすく答えてくださると, その後の学習に意欲を持って取り組むことができますので, よろしくお願ひします。</p>
